

対馬のスジグロシロチョウの記録

境 良朗

対馬のスジグロシロチョウの現状については、境・杉（2021）において1990年代後半および2004年～2016年までの記録をまとめるとともにとPieris属3種の種間関係の変化について報告し、若干の考察を加えた。この中で本種の個体数変動には台湾モンシロチョウの急激な減少とシカによる食草への食害が大きく関わっていると推測されることを示した。

ここ10年ほどわずか2頭の記録しかなく、2016年を最後に記録が途絶えていたが（図1）、6年ぶりに確認することができたので報告する。なお翌年同時期に数回現地調査したが発見することはできなかった。

図1 スジグロシロチョウの採集頭数（1990-2023）

	90	91	92-96	97	98	99-03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17-21	22	23
♂	1	1		2	5		42	29					1	1					1		5	
♀		1		1	2		8	5		1	1			1		1						
計	1	2		3	7		50	34		1	1		1	2		1			1		5	

【データ】

5♂, 31. V. 2022, 対馬市上対馬町豊. 境良朗（写真1）

県条例で採集禁止規制種に指定されている台湾モンシロチョウとともに今後の動向を注視していきたい。

引用文献

境良朗・杉憲（2021）対馬産スジグロシロチョウの現状 2022. こがねむし, No.86 : 39-42, 長崎昆虫研究会



写真1